

枚方市文化芸術振興計画の進捗状況

[令和2年度分 総括]

案

I 文化芸術活動を通じて交流するまち

1. 市民の文化芸術活動の機会の充実

■市民の積極的な文化芸術活動を支援し世代間や地域社会での交流を深め、活動の場を広げます。

〈令和2年度の主な取組〉

①大阪フィルのメンバーによる室内楽演奏会（文化生涯学習課）

地域の文化芸術活動を支える施設での文化芸術事業として2事業を企画しました。

- ・枚方出身の近藤浩志さんによるチェロ・コンサート（席数50%で昼夜2回実施）
- ・枚方在住の平野花子さんのハープリサイタル **新型コロナで中止**

②文化芸術アドバイザーのわかぎゑふ氏企画による演劇公演（文化生涯学習課）

市民の本格的な文化芸術の鑑賞機会として、わかぎゑふ氏が主宰する玉造小劇店の演劇公演。

新型コロナで中止

③市民が創作・練習し、発表する場の提供や発表に伴うサポート（文化生涯学習課）

- ・「ひらかた人形劇 フェスティバル」を令和3年3月20日、牧野生涯学習市民センターで開催しました。
- ・枚方合唱協会と共催の「市民合唱祭」、枚方吹奏楽協会と共催の「吹奏楽フェスティバル」について関西外国語大学講堂を借用して実施を企画しました。 **新型コロナで中止**

〈今後の課題〉

- ①総合文化芸術センターで市民の文化芸術活動を総合的にサポートできるスタッフの育成を行っていくこと。
- ②ジャンルを越えた交流など市民の文化芸術活動の広がりをつくるのが、新型コロナの影響により困難な状況にあるため、検討を行うこと。

I 文化芸術活動を通じて交流するまち

2. 子どもや若い世代の文化芸術活動の機会の充実

- 子どもや若い世代が優れた文化芸術を鑑賞し、体験する機会の充実により、子どもたちの感性や想像力を育みます。
- 子どもや若い世代が自ら積極的に文化芸術を創作し、発表する機会の充実を図ることで、子どもたちのやる気や励みにつなげます。
- 子どもや若い世代を対象とした市民の文化芸術に関する活動を支援します。

〈令和2年度の主な取組〉

①〈新規〉中高生演劇ワークショップ（文化生涯学習課）

- ・ 子どもや若い世代が優れた文化芸術を体験する機会の創出を目指し、一般財団法人地域創造の助成を受け、アーティストを派遣して地方公共団体やホールと共に事業を実施する「リージョナルシアター事業」**新型コロナで中止**
- ・ 文化芸術アドバイザー・平田オリザ氏による「演劇ワークショップ」。**新型コロナで中止**

②〈新規〉ジュニアプラスバンド育成事業（文化生涯学習課）

子どもや若い世代が自ら積極的に文化芸術を創作し、発表する機会の充実を図るため、文化芸術アドバイザー・市川克明氏の企画として、オーディションを経た中学1年から高校2年までの36人で「ひらかたジュニア吹奏楽団 WINDS」を結成し、総合文化芸術センターで実施される大阪フィルハーモニー交響楽団の公演での共演を目標に、市川氏を中心としたプロによる楽器別の指導を行った。新型コロナにより、練習は1回となりました。

③中央図書館での絵本原画展・講座（中央図書館）

市内各図書館での子どもを対象とした展示会や講座の開催などで、子どもたちが文化芸術に触れる機会を創りました。**27事業中14事業は新型コロナで中止**

④枚方市少年少女合唱団（子ども青少年政策課）

小学3年から高校3年が、枚方公園青少年センターを拠点に活動。行政イベント等への参加。**出演予定の行政イベントは新型コロナで中止**

I 文化芸術活動を通じて交流するまち

3. 学校教育における文化芸術活動の機会の充実

- 学校と連携し、文化芸術活動の拠点施設(現市民会館・(仮称)総合文化芸術センター)で、優れた文化芸術を鑑賞し、伝統文化等に対する理解を深める機会の充実に取り組みます。
- 学校において、学年に応じた文化芸術に関する体験学習等を実施し、文化芸術教育の充実に取り組みます。
- 芸術家等と学校や学校を支える団体との連携に対し必要な協力や支援を行います。

〈令和2年度の主な取組〉

①「中学校オーケストラ鑑賞事業」 (文化生涯学習課・学校教育室 教育指導担当)

市立中学校の1年生を対象に、連携協定を締結している大阪フィルハーモニー交響楽団の生演奏を本格的なホール空間で体験してもらう事業。**新型コロナで中止**

②アウトリーチ (文化生涯学習課)

市アーティストバンクに登録する若手芸術家を小学校に派遣し、小学5・6年生を対象に実演を披露する事業で、市立28小学校で実施。内16校でピアノ連弾や、クラリネット・フルート・ピアノなどのクラシック音楽や、津軽三味線、社交ダンス、日本舞踊などの実演を披露しました。**12校は新型コロナで中止**

③枚方市小学校合同音楽会 (学校教育室 教育指導担当)

小学校在籍中に、全ての児童が一度は本格的なホールの舞台に立つ経験をするための事業。市民会館大ホールがなくなったため、令和元年度より総合文化芸術センターが開館するまでは、中学校区単位で小・中学校の体育館で実施。**新型コロナで中止**

④枚方市立幼稚園児絵画展 (公立保育幼稚園課)

公立幼稚園の教育内容を発信する事業(ふれあいセンター)。**新型コロナで中止**

〈今後の課題〉

- ①「中学校オーケストラ鑑賞事業」を、本市の学校教育の一事業として継続して実施していくための環境づくりや意識形成に向け、学校側が懸念している実施時期の決定における学校との連携や、会場までの移動補完を確実に実施すること。

I 文化芸術活動を通じて交流するまち

4. 障害者等が活発に文化芸術を行うことができる環境の整備

- 障害者や高齢者、子育て中の保護者などで配慮が必要な方など、誰もが活発に文化芸術活動を行い、その活動を通じた交流を行うことができる環境を整え、ニーズの把握に努めます。

〈令和2年度の主な取組〉

①デジタル補聴システムの貸出（文化生涯学習課）

文化国際財団の映画会「あん」「引っ越し大名！」の上映において実施しました。

②総合福祉センターや総合福祉会館のロビーを活用したコンサート（ライブ）（地域健康福祉室（長寿・介護保険担当）、健康福祉総務課）

施設を訪れた利用者が気軽に文化芸術を鑑賞できる機会を創出するために実施。新型コロナのため、総合福祉センターが例年15回程度を5回開催、総合福祉会館が例年25回程度を4回の開催としました。

③各地域子育て支援拠点での乳幼児の親子向けの事業（私立保育幼稚園課）

令和2年10月～12月6日の期間に、ハロウィンやクリスマスをテーマとした制作を通して、乳幼児親子が文化芸術に触れる機会をつくりました。令和2年4月～9月、令和2年12月～令和3年3月までの期間は、新型コロナのため中止となりました。

④文化自主発表会（地域健康福祉室（長寿・介護保険担当））

総合福祉センターで、活動団体が日頃の成果を披露するために毎年開催している文化祭を、新型コロナのため参加団体・開催日数を制限し、名称を変更して実施しました。

⑤総合文化芸術センターのバリアフリー（文化生涯学習課）

車イスで舞台出演するための動線の確保、他の市施設と比較して区画の広い多機能お手洗いの設置（11箇所）、大ホール・小ホールの車椅子席を客席前方に配置。

〈今後の課題〉

- ①拠点施設において文化芸術に係る事業を継続して実施するために、関係団体や施設と連携できる事業を企画すること。

I 文化芸術活動を通じて交流するまち

5. 国内及び国外の文化芸術活動を行うものとの連携及び交流

- 他都市の文化施設との連携により創造発信事業や優れた鑑賞事業に取り組み、より効率的、効果的に事業を実施します。
- 様々な分野の文化芸術団体の相互交流を促進します。
- 文化芸術を通じた友好都市交流に取り組み、都市交流や国際文化理解を深めます。

〈令和2年度の主な取組〉

①多文化フェスティバル（観光交流課）

国際交流のボランティアグループが集まって年1回ニッペパーク岡東中央で開催しているイベントで、南米アメリカのフォルクローレや韓国のチャンゴの演奏、ザンビアやフィリピンなどのダンス・舞踊など、多彩なステージイベントの開催や食文化を紹介。新型コロナウイルスで中止

②国際交流子ども絵画展（文化生涯学習課）

国際交流事業として枚方市の友好都市を中心とする海外の国々と日本の子どもたちの絵画を展示。

〈今後の課題〉

- ①総合文化芸術センターで他都市との連携による事業を実現するため、双方で集客できる魅力的な事業の招致を行うこと。
- ②新型コロナウイルスで海外との交流が難しい状況の中、海外友好都市との連携事業の在り方を見直すこと。

Ⅱ 文化芸術を育み、発信するまち

1. 文化芸術に対する市民の関心及び理解を深めるための普及啓発

- 気軽に参加できる様々な文化芸術を鑑賞する機会の充実を図り、市民の観たい、聴きたい気持ちに働きかけます。
- 公共施設などにおけるアウトリーチ活動により、意図せず文化芸術に触れ、楽しむことができる空間を作ります。
- 文化芸術を学び、体感する機会を提供し、文化芸術に対する理解を深めます。

〈令和2年度の主な取組〉

①〈拡充〉枚方市若手芸術家支援事業 アート・スプラウトシリーズ パフォーミングアーツ (文化生涯学習課)

- ・コロナ禍に対応したWEB版を16回分作成し、市の公式YouTubeで公開しました。

②〈新規〉文化芸術アドバイザー・辰巳満次郎氏による「能楽講座と公演」 (文化生涯学習課)

- ・解説付きの鑑賞事業として、能楽公演の事前講座「能楽を知る！～「船弁慶」をより楽しく鑑賞するために」を開催し、「船弁慶」のストーリーや見どころの解説のほか、能楽の基礎知識を辰巳満次郎氏が分かりやすくレクチャーしました。
- ・香里能楽堂での「船弁慶」の公演。 **新型コロナで中止**

③【再掲】文化芸術アドバイザーのわかぎゑふ氏企画による演劇公演 (文化生涯学習課)

市民の本格的な文化芸術の鑑賞機会として、わかぎゑふ氏が主宰する玉造小劇店の演劇公演。
新型コロナで中止

④公共施設のロビーなどにおけるコンサート (中央図書館)

- ・香里ヶ丘図書館リニューアルオープン記念のチェロ・コンサートを開催しました。
- ・中央図書館玄関ホールにおいてクラシックの生演奏コンサート3回。 **新型コロナで中止**
- ・絵本や冊子の原画展や講座を市内各図書館で企画し、黒岩多喜子水彩画原画展などを開催しました。 **6事業中3事業が新型コロナで中止**

Ⅱ 文化芸術を育み、発信するまち

2. 特色ある文化芸術の創造に対する支援

■特色ある文化芸術の創造を支援することで、まちの魅力を創出し、市民のまちへの愛着を深めます。

〈令和2年度の主な取組〉

①本市の歴史や風土、伝承文化などの地域資源を題材とした事業（文化財課）

- ・枚方宿鍵屋資料館で、枚方宿ゆかりの展覧会や、枚方宿関連講座、「三十石船唄を歌う会」などの伝統文化関連イベントを開催。31事業中19事業が新型コロナで中止
- ・旧田中家鋳物民俗資料館で、鋳造、七宝、彫金、バーナーワーク講座などを開催。27事業新型コロナのため中止しました。27事業中10事業が新型コロナで中止

②【再掲】市民が創作・練習し、発表する場の提供や発表に伴うサポート（文化生涯学習課）

- ・「ひらかた人形劇 フェスティバル」を令和3年3月20日、牧野生涯学習市民センターで開催しました。
- ・枚方合唱協会と共催の「市民合唱祭」、枚方吹奏楽協会と共催の「吹奏楽フェスティバル」について関西外国語大学講堂を借用して実施を企画しました。新型コロナで中止

③枚方歴史物語「火炎の蝦夷、阿豆流為」（文化生涯学習課）

枚方の伝承文化を題材にした文化芸術事業として、市内文化芸術団体との共催で実施しました。

④枚方シティオペラ公演スペシャルコンサート（文化生涯学習課）

文化庁の文化芸術創造拠点形成事業の採択を受け、本市の新たな魅力となる文化芸術の創造に対する支援として、芸術家と市民がともに舞台公演を創り上げる舞台を企画。新型コロナで中止

Ⅱ 文化芸術を育み、発信するまち

3. 文化芸術の振興に関し功績があったものに対する顕彰

- 文化芸術に関し功績があった人や優れた文化芸術活動を行っている芸術家等に対して顕彰を行い、奨励するとともに、その活動を広く発信します。

〈令和2年度の主な取組〉

①市民文化賞の贈呈（総務管理室（総務管理担当））

「第64回全国書き初め作品展覧会」で優秀な成績をおさめられた関西創価小学校と同小の山田美和さんの2件に贈りました。

〈今後の課題〉

- ①総合文化芸術センターでの発表機会の創出を検討するために、市内在住の芸術家や芸術家を目指して学んでいる市民などの情報を収集する仕組みとしてのアーティストバンクの活用。

Ⅱ 文化芸術を育み、発信するまち

4. 事業者、大学及び団体等が行う文化芸術に関する地域貢献活動の促進

- 事業者や大学、団体等が行う文化芸術活動支援(メセナ活動)に対する機運を高めます。
- 事業者や大学、団体等と連携し、新たな魅力づくりや魅力ある文化芸術事業に取り組みます。
- 学園都市ひらかたの特色を活かし、市と大学が連携した取り組みを推進します。

〈令和2年度の主な取組〉

- ①<新規>総合文化芸術センター内のホール等のネーミングライツの導入 (文化生涯学習課)
大ホール・小ホールは関西医科大学、イベントホール・美術ギャラリーは枚方信用金庫に、5年間のネーミングライツが決定しました。
- ②【再掲】団体等と連携した魅力ある文化芸術事業 (文化生涯学習課)
 - ・「ひらかた人形劇 フェスティバル」を令和3年3月20日、牧野生涯学習市民センターで開催しました。
 - ・枚方合唱協会と共催の「市民合唱祭」、枚方吹奏楽協会と共催の「吹奏楽フェスティバル」について関西外国語大学講堂を借用して実施を企画しました。 新型コロナで中止
- ③ひらかた工芸展の開催 (文化生涯学習課)
枚方工芸会との共催により実施。工芸会会員の作品展示及び市民公募展示。 市民公募は新型コロナで中止
- ④ひらかた市民大学 (文化生涯学習課)
市内大学との連携により毎年5大学で実施しており、大阪歯科大学の「日常のストレスに立ち向かうには」と、関西医科大学の「世界を襲う新しいウイルス感染症」「新しい感染症の予防と対策」の2大学で実施しました。他の3大学では、新型コロナのため中止となりました。

Ⅲ文化芸術が継承される基盤の整った魅力あるまち

1. 文化芸術活動の拠点施設の整備及び活用

- (仮称)総合文化芸術センターを整備し、文化芸術活動の拠点施設として活用するとともに、生涯学習市民センターなどの地域の文化芸術活動を支える施設との連携により効果的な事業運営を行います。
- 市所蔵の美術工芸品を保存・公開等を行う観点を踏まえて、美術館を含む本市の美術施策の推進に関する基本的な考え方をまとめます。

〈令和2年度の主な取組〉

①総合文化芸術センター整備工事 (施設整備室、文化生涯学習課)

令和3年度の開館に向け、総合文化芸術センターの建築工事、電気設備工事、機械設備工事、舞台機構設備工事、舞台音響設備工事、舞台照明設備工事及び植栽工事を前年度から引き続き進めました。

②総合文化芸術センター施設の貸出 (文化生涯学習課)

総合文化芸術センターの運営について、利用の手引きをまとめ、令和3年10月からの一般貸出に向けた施設の貸出の仮予約を開始しました。

〈今後の課題〉

- ①総合文化芸術センターの施設運営の実態をふまえ、センターの運営と利用者サービスに影響しない形での市民ボランティアの活用として、市民総合文化祭で活用すること。

Ⅲ文化芸術が継承される基盤の整った魅力あるまち

2. 文化芸術活動の拠点施設における専門的能力を有する者の確保及び育成

- (仮称)総合文化芸術センターにおいて、文化芸術事業を行うために必要な専門的能力や知識を有する者の確保・育成に努めます。
- 他都市で優れた施設運営を行う文化施設と連携した研修等の実施により、(仮称)総合文化芸術センターの運営に携わる職員の資質向上に努めます。

〈令和2年度の主な取組〉

①【再掲】文化芸術アドバイザー事業 (文化生涯学習課)

4人の文化芸術アドバイザーによる総合文化芸術センター開館プレ事業を予定していましたが、平田オリザ氏の小学校での「コミュニケーション授業」と、わかぎゑふ氏の演劇鑑賞事業は新型コロナで中止しました。辰巳満次郎氏の能楽鑑賞事業は、メセナひらかた会館での能楽講座のみ開催し、香里能楽堂での能楽公演は中止、市川克明氏のジュニアブラスバンド育成事業は、オーディションと練習1回のみ実施しました。

②専門性を有する人材の配置と育成等 (文化生涯学習課)

総合文化芸術センターの指定管理者の公募で、「専門性を有する人材の配置と育成等」という仕様を満たす指定管理者を選定し、指定管理者において人材を配置しました。

Ⅲ文化芸術が継承される基盤の整った魅力あるまち

3. 地域における文化芸術の振興を支える人材の育成

- 市民と芸術家や文化施設をつなぎ、地域において様々な形で文化芸術の振興を支える人材を育成します。
- 将来を見据えた文化芸術の振興に向け、芸術家を発掘し、育成に関する支援を行います。

〈令和2年度の主な取組〉

①【再掲】〈拡充〉枚方市若手芸術家支援事業 アート・スプラウトシリーズ パフォーミング アーツ（文化生涯学習課）

- ・コロナ禍に対応したWEB版を16回分作成し、市の公式YouTubeで公開しました。
- ・実演は、テノール・バリトンコンサート、ピアノコンサートの2回を企画。ピアノコンサートは新型コロナで中止

②枚方市アーティストバンク（文化生涯学習課）

音楽や舞踊など16個人、20団体（計77人）のアーティストを登録しています。（令和3年3月末現在）

③【再掲】〈新規〉中高生演劇ワークショップ（文化生涯学習課）

- ・子どもや若い世代が優れた文化芸術を体験する機会の創出を目指し、一般財団法人地域創造の助成を受け、アーティストを派遣して地方公共団体やホールと共に事業を実施する「リージョナルシアター事業」新型コロナで中止
- ・文化芸術アドバイザー・平田オリザ氏による「演劇ワークショップ」。新型コロナで中止

④市民を対象としたワークショップ（文化生涯学習課）

- ・発声練習や台本の読み方を学ぶ「演劇ワークショップ」を開催しました。
- ・「初級人形劇講習会」、「美術関連実技講座 3講座」を企画。初級人形劇講習会と美術関連実技講座1講座は新型コロナで中止

Ⅲ文化芸術が継承される基盤の整った魅力あるまち

4. 文化芸術に関する情報の収集、蓄積及び発信

- 文化芸術に関する各種情報を積極的に発信し、市民や文化芸術団体とそれらの情報を共有します。
- 本市で培われた文化芸術や本市ゆかりの美術作品等を次世代へ引き継ぐという観点を踏まえ、継続的な研究・保存・公開に取り組みます。
- 市民ニーズに応じた多様な情報発信手段により、効果的に情報を届けます。

〈令和2年度の主な取組〉

①〈新規〉枚方市総合文化芸術センターホームページの作成（文化生涯学習課）

センター開館を控え、センターのホームページを作成し、施設紹介や利用方法などを掲載しました。

②大阪美術学校や枚方市ゆかりの作家の作品の保存・公開（文化生涯学習課）

御殿山美術センターや市役所別館1階ロビー空間で、アートエキシビジョンとして本市ゆかりの美術作品を年10回公開しました。